

高山の文化

No.181 2016.9.30 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877



メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

平成29年 新年市民互礼会のご案内

新年を祝う「市民互礼会」を次のとおり開催します。市民ならどなたでもご参加いただけます。各団体や個人の新年の顔合わせも兼ねて、ぜひご参加ください。併せて飛騨文芸祭・一般の部の表彰式を行います。文芸祭にご応募いただいた皆様のご参加をお待ちしております。

- ◇日時 平成29年1月1日(日) 午前11時～
- ◇会場 高山グリーンホテル
- ◇会費 7,000円 (記念品・芳名録代を含む)
- ◇申込み 11月10日(木)までに、ハガキ FAX、メールにて。〒506-0053
- ◇申込先 高山市昭和町1-188-1 (一社) 高山市文化協会 (FAX) 0577-34-6877 (メール) mail@takayama-bunka.org



福田夕咲 早船ちよ 瀧井孝作 江馬修

「ガンモン毛筆」
この夏、我が家のツバメの巣がカラスに二度襲われた。一度目は、若(？)夫婦が巣作りをほぼ終えた時で、また卵を産む前だった。二度目は、巣を作り直して五羽の雛のいる時やられた。気が付いたら雛一羽だけが下に落ちていた。近所の人や通りがかった人々が助けられて、その一羽を半分壊れた巣に戻した。一夜明けて車を動かしたら、なんと下にもう一羽が生きて隠れていた。その間親鳥がエサを運んでいたのだろうか。

野鳥の会の人に教えてもらい、カップ麺のカラをぶら下げて二羽を入れた。カラを除けの黒いヒモも沢山垂らしたら、また親鳥がせっせとエサを運んで、二羽を育てた。

やがて他のツバメたちよりかなり遅れて、皆元気で飛び去った。来年また元気で戻ってきて欲しい。

とまあそれだけの話だが、私にとっては心に残るこの夏のちょっとした事件だった。「カラスめが」と言ったら、「カラスにも雛がいる」と言われた。



日本画「帰牧」吉川 菊麿
昭和41年日展入選、50号(1160cm×831cm)
昭和57年、吉川菊工門氏より文化会館へ寄贈
大ホール2Fギャラリーにて展示

高山市制施行80周年・高山駅舎完成記念 第25回 高山市近代文学館企画展 「鉄道が育んだ郷土の文学者」

10/1(土) 2日

高山市文化協会では、郷土の文化を支えてきた文学者の経歴と功績を紹介し、高山市の文学の発展に寄与する目的で、毎年二回「近代文学館企画展」を開催しています。今回は、高山駅舎の完成を記念し、高山駅西側の「高山市民文化会館」で開催します。高山駅には、高山市を代表する文学者、瀧井孝作・江馬修・福田夕咲・早船ちよ等が帰郷の際に降り立ち、またこの駅から旅立つ際の心境が、後の作品に少なからず影響しています。この四人の功績を「高山市近代文学館」に収蔵されている資料よりご紹介いたします。

「展示内容」
瀧井孝作・江馬修・福田夕咲・早船ちよの作品。初公開資料などを展示します。
◇日時 十月一日(土)・二日(日) 午前10時～午後五時(最終日は午後四時まで)
◇会場 文化会館四階大会議室
◇入場無料
◇小説家・俳人・文化功労者・高山市名誉市民。空町生まれで八王子市に居住。数々の名著を遺し文学賞も多数受賞。芥川龍之介や志賀直哉ら著名文人との交流もあった。芥川賞創設時から選考委員を務めた。代表作は「無

限抱擁「俳人仲間」など。
「江馬修」
小説家。空町生まれ。当初自然主義文学に取り組んだが、マルクス主義に関心をもち日本プロレタリア作家同盟に参加。後に飛騨へ戻り雑誌「ひだびと」の編集に携わる。代表作は長編小説「山の民」。
「福田夕咲」
詩人・歌人。大新町一の生まれ。早稲田大学在学中より人見東明らと交わり「自由詩社」を創設。読売新聞入社後は、北原白秋若山牧水らと交流した。帰郷後瀧井孝作らと「ツクモ」を創刊。詩・和歌の会などを育てた。
「早船ちよ」
作家・児童文学者。古川町三之町に生まれ、高山市有楽町で育つ。南小学校「銀のすず」に投稿、頭角を現す。結婚後に童話を書き始め、多数の作品が賞を受けた。代表作「キユーボラのある街」は映画化された。

「岡目(目)」
この夏、我が家のツバメの巣がカラスに二度襲われた。一度目は、若(？)夫婦が巣作りをほぼ終えた時で、また卵を産む前だった。二度目は、巣を作り直して五羽の雛のいる時やられた。気が付いたら雛一羽だけが下に落ちていた。近所の人や通りがかった人々が助けられて、その一羽を半分壊れた巣に戻した。一夜明けて車を動かしたら、なんと下にもう一羽が生きて隠れていた。その間親鳥がエサを運んでいたのだろうか。

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org



水口聡 with ホクスト・アンサンブル金沢

テノールとストリングスの競演



＜曲 目＞
ブッチーニ：歌劇「トスカ」より
“妙なる調和”
ブッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”
シューベルト：アヴェ・マリア
ジークンスキー：ウィーン、わが夢の町 他

平成28年
12/4(日) 午後3時開演
午後2時30分開場

こくふ交流センター さくらホール

高山市国府町広瀬町880
チケット料金(税込) 全席指定
〔一般〕2,500円〔メナメイト会員〕2,000円
〔ジュニア(18才以下)〕500円

チケット発売
10月8日(土) 午前10時～(一斉発売)

プレイガイド
高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180



市川門之助 市川笑也 坂東巳之助 市川猿之助

平成28年 10/3(月) 高山市民文化会館 大ホール

午後6時30分開演
午後5時45分開場
高山市昭和町1丁目188-1
チケット料金(税込) 全席指定 一等席完売
一等席〔一般〕7,000円〔メナメイト会員〕6,500円
二等席〔一般〕5,000円〔メナメイト会員〕4,500円
〔ジュニア(18才以下)〕1,000円 ※未就学児入場不可

プレイガイド
高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180



チケット好評販売中

BEGIN in 飛騨高山

スタート2016-2017

平成28年 10/19(水) 高山市民文化会館 大ホール

午後7時開演
午後6時15分開場
高山市昭和町1丁目188-1
チケット料金(税込) 全席指定 チケット残り僅か
〔一般〕6,500円〔小中学生〕2,000円
※未就学児入場可(原使用時は小中学生料金)

プレイガイド
高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180
ローソンチケット Lコード: 43062

企画制作: アミューズ 後援: テイチクエンタテインメント
協力: BEGIN OFFICIAL FAN CLUB「かりゆしネット」

高山の文化を高めた人々 66

茶・華道発展の基礎を固めた人 住進

住 齊

祖父(進)は、明治から昭和にかけて飛騨における茶・華道の基礎を固め、その発展に尽力、門弟三千人と言われた人です。



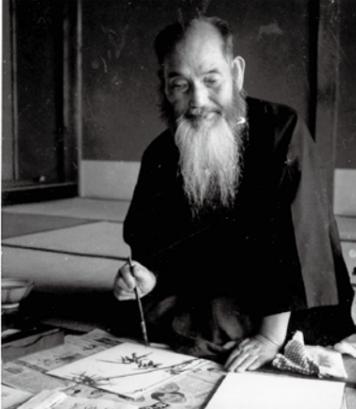
住進(昭和16年頃)

祖父は明治六年に吉城郡八日町の農家谷口周助の長男として生まれました。母がすぐに亡くなり、周助の後妻に子が生まれ、母の実家(同じく八日町の農家住)には子がなかったため、三歳のとき住の家に引き取られました。祖父は体が弱かったけれど意志強固で、独学で斐太中学二年への編入試験に合格しました。しかし重い眼病に罹り、左眼を失明したため、中退せざるを得なくなりました。そ

れでもめげず、明治二十六年、独学で小学校本科正教員の免許を得ました。科目は、修身教育、国語、算術、地理、歴史、習字と体操です。それにより、初め吉城郡三日町、次いで高山町の男子および女子尋常小学校の訓導を務め、大正十四年まで三十二年間に及びました(勲八等瑞宝章拝受)。

祖父が正教員の免許取得にこだわったのは自分の使命を経済的に支えるためでした。その使命とは、養父の住作助(私の曾祖父で、飛騨人物事典「頁百三十三」)の影響によるものです。養父は高山の画家垣内雲嶺に師事し、京都画壇四条派の日本画を能くしました。茶道も深く研修、京都の表千家長生庵堀之内宗晋の門弟でした。明治二十年代

で来ようと決意するに至りました。小学校正教員の免許により京都において教員として自活しつつ、正統の茶・華道を習得しようとしたのです。実際祖父は、明治三十一年、新妻を伴い上京、山科にて訓導職に就く傍ら、二年間に渡って華道では六角堂池坊専正の、茶道では表千家堀之内宗完の(後に家元不審庵宗左の)直門に入りました。



市内下三之町の自宅で(昭和35年頃)

に祖父はこれらを養父から学びつつ、飛騨には正統の茶・華道が広まっていけないという養父の嘆きをいつも聞いて、いつしかそれらを京都で学ん

で来ようと決意するに至りました。また、茶道においては、表千家家元不審庵宗左より種々の点前(茶通箱、唐物、台天目、盆点、乱飾など)の相伝を許され、飛騨に広めると共に、昭和二十四年の桜山八幡宮における大献茶会などの多くの茶会を催しました。正統の茶・華道を生徒に広めることにも熱心で、そのため大正四年から昭和二十二年まで高山高等女学校の教師

となりました。長いあご髭により、ひげもく先生、と呼ばれ敬愛されたことが、現在でも飛騨中の年配者に記憶されています。

筆墨画を極め、竹刻、篆刻、漢詩と謡曲も能くしました。

雅号は翠雨軒柳村、柳翁、松風庵ほか。昭和二十七年に高山市文化協会より文化功労者顕彰。昭和三十七年に亡くなるまで池坊が華老を遺贈。

第40回 飛騨文芸祭入賞者決まる

- ◆一般の部
 - ◆文芸祭賞 俳句十句 数崎 清子(高山市本町) 該当者なし
 - ◆江夏美好賞 俳句十句 下垣内町子(高山市下岡本町)
 - ◆高山市長賞 俳句十句 武藤 久美(高山市七日町)
 - ◆高山市議会議長賞
 - 随筆賞 久保田洋三(高山市久々野町久々野)
 - 短歌十首 堀 甲枝(高山市国府町名張)
 - ◆高山市教育長賞
 - 小説賞 松山 正利(下呂市金山町大船渡)
 - 評論賞 門前 吉之(高山市三福寺町)
 - ◆一般社団法人高山市文化協会賞
 - 現代詩賞 稲泉 真紀(高山市大洞町)
 - 短歌十首 打保 洋子(高山市日の出町)
 - 俳句十句 栗田美由紀(高山市上岡本町)
 - 俳句十句 小林 高子(高山市八軒町)
 - 短歌十首 杉山 洋子(下呂市金山町金山)
 - 短歌十首 滝上 一恵(高山市岩井町)
 - 短歌十首 中村 博子(高山市三福寺町)
 - 短歌十首 西 春彦(高山市上一之町)
 - 現代詩賞 ののむらすすむ(高山市漆垣内町)
 - 随筆賞 森下 孝二(高山市森下町)

- ◆青少年の部
 - ◆青竜大賞 該当者なし
 - ◆青竜賞
 - 短歌五首 上林 樹生(吉城高校1年)
 - 短歌五首 清水 絃能(吉城高校1年)
 - 短歌五首 永縄 雄一(高山西高校2年)
 - 短歌五首 波岡 梨乃(飛騨神岡高校3年)
 - 短歌五首 濱本 蔵人(飛騨神岡高校1年)
 - 俳句五句 夢加 夢加(飛騨神岡高校3年)
 - 俳句五句 小本曾 都(飛騨神岡高校1年)
 - 俳句五句 田中 麟児(高山西高校2年)
 - 俳句五句 中桐 優飛(飛騨神岡高校3年)
 - 俳句五句 波岡 梨乃(飛騨神岡高校3年)
 - 俳句五句 濱本 蔵人(飛騨神岡高校1年)
 - 俳句五句 平野さくら(高山西高校2年)
 - 俳句五句 和田 鈴太(高山西高校1年)
 - 現代詩 森 夢加(飛騨神岡高校3年)
- 表彰式:平成29年1月1日(日)
新年市民互礼会式場にて(会場:高山グリーンホテル)
※青少年の部の表彰は別途行います。

文化協会 講演会

高山市文化協会の「まちづくり」について

～まちの賞味期限と活性化について～

10/16(日)

高山市文化協会では、毎年著名人を招いて、飛騨高山の文化発展のための講演会を開催しています。

今年も、高山市出身でドイツ・フライブルク在住の環境ジャーナリスト「村上敦一氏」をお招きし、飛騨高山のまちづくりに関する講演を行います。

村上さんは、日本の大手建設会社勤務を経て、ドイツ・フライブルクへ移住、現地の市役所・建設局に勤務の後、独立しフリーライターとしてドイツの環境・都市計画施策を日本で紹介しておられます。

専門分野は、環境に配慮した自治体の土地利用計画、交通計画、エネルギー施策などですが、今回は、市民の側か

らの「まちづくり」について講演していただきます。

市制80周年を迎え、高山駅舎も新しくなり高山は大きく変わっています。これから

のまちづくりをどうすれば良いのかを考える機会です。ぜひ、お越しください。

◆日時 十月十六日(日) 午後二時開演(開場三十分前)

◆会場 文化会館小ホール

◆入場無料(要整理券)

※整理券は十月一日より文化会館窓口にて配布します。

「村上さんからのメッセージ」高山市に限らず、日本全国の地方都市、農村では、家から近くにある商店街や市民サービスの一閉鎖、あるいは中心街の衰退が推察され、活性化



を図ることが大切だと言われ続けています。

しかし皆さん、その原因についてお聞きになったことはありませんか? 「大型店やチェーン店の進出?生活様式の変

化?」いやいや、それは結果であって、実はそうした問題の原因は、私たちの住まい、方住宅の部分にあります。

講演では、私の住む永続的に活気のある「まち」ドイツ・フライブルク市と、疲弊しはじめている日本の地方都市を比較し、どんな問題か、どのような理由で発生し、その結果高山市に住む市民は将来どのような影響を受けることになるのか、そんなお話をしてみたいと思います。

お楽しみに。

新高山駅舎完成記念特別企画

文化会館に ミニSLが やってくる!

10/1(土) 午前10時～午後3時

文化会館駐車場にて (雨天時は市民ロビーにて)

先着 500名

- 乗車券は当日9時半より会場でお配りします
- 館内のジオラマも随時運転します

協力:高山おもちゃ病院

市制施行80周年記念 飾り物展 作品募集

高山市制施行80周年と新高山駅舎完成を記念して、11月1日(火)～3日(木・祝)に開催する飾り物展の作品を募集します。

- ◇テーマ ①市制施行80周年記念祝賀 ②新高山駅舎完成
- ◇資格 市内の町内会や同好会、または市内在住の個人
- ◇点数 一団体(個人) 1点 ※展示数に限りがあるため、先着順にて締め切り
- ◇規格 幅100センチ×奥行90センチに収まること
- ◇応募 文化会館窓口にて配布の応募用紙に、必要事項を記入の上、10月15日(土)までに、同窓口へ提出
- ◇搬入 10月29日(土) 午前10時～午後7時
- ◇搬出 11月3日(木・祝) 午後4時～5時

【飾り物展日程】

- ◇日時 11月1日(火)～3日(木・祝) 午前9時～午後5時 (最終日は午後4時まで)
- ◇会場 文化会館4階和室
- ◇入場無料

市制七十周年の飾り物

道伝えの日 芭蕉忌句会 俳句募集

高山市文化協会では、さまざまな伝統文化を後世に継承するため、高山市文化伝承館において「道伝えの日」事業を行っています。

その一環として、松尾芭蕉の命日(旧暦十月十二日)近くに「芭蕉忌句会」を開催するため、俳句を募集します。句歴は問いません。たくさんの方の応募をお待ちしております。

【句会】

- ◇日時 十一月十九日(土) 午後一時から
- ◇会場 高山市文化伝承館 (城山号砲平下)

◇応募 作品二句と住所、氏名、電話番号を明記し、ハガキ、FAXなどで当協会へ

◇締切 十月二十日(木)



文化協会後援 催事のお知らせ

第四十五回 飛友会カメキチ写真展

◆日時 九月三十日(金) 十月二日(日) 午前九時～午後五時(最終日午後四時)

◆会場 文化会館二階展示室

◆入場無料

中写真真協会飛騨支部写真展

◆日時 十月二十八日(金) 三十日(日) 午前九時～午後七時(最終日午後四時)

◆会場 文化会館三階展示室

◆入場無料

華道池坊斐太支部 花展

◆日時 十月二十九日(土) 三十日(日) 午前十時～午後五時

◆会場 文化会館三階講堂

◆入場無料

文化協会 加盟団体紹介 【三喜流舞踊風千佳会】

三喜流を全国へ広められたのは、宗家家元三喜八千代先生(東京)です。日本舞踊藤間流から独立され、古典・新舞踊、歌謡舞踊、新民踊、創作舞踊と、舞踊の幅を広げられました。そして、私の師匠、三喜八千風先生が、三十一年前に三喜流高山支部を開き、高山へ広められました。

八千風先生の素晴らしい踊りに魅せられて、二十二歳から始めた舞踊の世界ですが、ここまで続けられるとは思っていません。只々感謝です。今は、二代目家元指導のもと、勉強を続けていきます。

風千佳会では、長年稽古に励んで下さっているお弟子さんと共に、発表会、地域

の行事、イベントなどへの出演、個人的な祝事への参加に向け、積極的に練習しています。幅広い曲から生まれる表情豊かな踊りが楽しめます。興味のある方、入会お待ちしています。

(連絡)〇九〇・一八六・六〇三〇 鈴木

平成24年 浜松舞踊公演

